

令和3年度

行橋市公営企業会計  
決算審査意見書

水道事業会計  
公共下水道事業会計

行橋市監査委員

4行監第132号  
令和4年8月10日

行橋市長 工藤政宏様

行橋市監査委員 宮下義幸

行橋市監査委員 面岡淳輔

令和3年度行橋市公営企業会計決算審査意見書の提出について

地方公営企業法第30条第2項並びに行橋市監査基準第3条第1項第4号の規定により、令和3年度行橋市水道事業会計及び公共下水道事業会計の決算について審査しましたので、別紙のとおり意見を提出します。

# 目 次

## 令和3年度 行橋市公営企業会計決算審査意見書

第1	審査の対象	1
第2	審査の期間	1
第3	審査の方法	1
第4	審査の結果	1
第5	決算の概要	2
水道事業会計		
1	業務の実績について	2
2	予算・決算の対照について	3
(1)	収益的収入及び支出について	3
(2)	資本的収入及び支出について	5
3	企業債について	7
4	予算の流用禁止科目について	8
5	他会計からの補助金について	8
6	たな卸資産（貯蔵品）購入について	8
7	経営成績（損益計算書）について	8
(1)	収益について	9
(2)	費用について	10
8	剰余金計算書について	12
9	財政状況（貸借対照表）について	12
(1)	資産について	12
(2)	負債について	13
(3)	資本について	13
(4)	キャッシュ・フローについて	13
10	経営分析	14
11	むすび	16
	資料	18～31

## 公共下水道事業会計

1	業務の実績について	32
2	予算・決算の対照について	34
	(1) 収益的収入及び支出について	34
	(2) 資本的収入及び支出について	36
3	企業債について	38
4	一時借入金について	38
5	予算の流用禁止科目について	38
6	他会計からの補助金について	39
7	経営成績（損益計算書）について	39
	(1) 収益について	39
	(2) 費用について	41
8	剰余金計算書について	42
9	財政状況（貸借対照表）について	43
	(1) 資産について	43
	(2) 負債について	43
	(3) 資本について	44
	(4) キャッシュ・フローについて	45
10	経営分析	45
11	むすび	46
	資料	48～60

(注1) 比率は、原則として小数点第3位を四捨五入しているため、総数と内訳の合計は一致しない場合があります。

(注2) 比率間、または指数間の単純差引はポイントで表しています。

(注3) 前年度対比率は、当年度または前年度がマイナスの場合は「－」で表しています。

# 令和 3 年度 行橋市公営企業会計決算審査意見

## 第 1 審査の対象

令和 3 年度 行橋市水道事業会計決算

令和 3 年度 行橋市公共下水道事業会計決算

## 第 2 審査の期間

令和 4 年 7 月 1 日から令和 4 年 8 月 1 0 日まで

## 第 3 審査の方法

市長から審査に付された決算書及び付属書類が、地方公営企業法、その他関係法令に準拠して作成されているか、また、その計数は正確であるか、かつ、経営成績及び財政状況を適正に表示しているか等について審査を行いました。

また、事業の運営は、地方公営企業法の経営の基本原則に則り、経済性を発揮するとともに、公共の福祉を増進するために合理的な運営がなされているかについて、経営計数の分析による審査も行いました。

なお、決算の計数については、総勘定元帳、その他の帳簿及び証拠資料との照合確認を行うとともに、例月出納検査の結果も参考にし、併せて関係職員の説明を聴取して実施しました。

なお、水道事業会計におけるたな卸資産（貯蔵品）については、上水道課のたな卸に立ち会い、種類・数量の確認を行いました。

## 第 4 審査の結果

上記審査方法に基づき審査した限りにおいて、決算報告書、損益計算書、剰余金計算書、剰余金処分計算書、貸借対照表、事業報告書、その他収益費用明細等の決算付属書類は、いずれも関係法令に定められた様式に準拠して作成され、かつ、その計数は正確であると共に、予算額及び款項の区分ごとの金額は議決額と一致しており、企業債及びたな卸資産購入は議決限度内となっており、令和 3 年度における水道事業及び公共下水道事業の経営成績及び財政状況を適正に表示しているものと認めました。

決算における消費税の取扱いは、予算は税込み、決算は税抜きで行うことを基本としていますが、予算と対比して執行状況を明らかにする必要のある決算書等は、その計数を税込みで表示しています。

なお、決算の概要は、次に記載のとおりで、令和3年度決算審査のまとめとしての「むすび」を各会計の最終ページに記載すると共に、審査における計数の分析等についての諸資料を別紙資料として添付していますので参照願います。

## 第5 決算の概要

### 水道事業会計

#### 1 業務の実績について

##### (1) 給水人口と給水戸数

当年度末における給水人口は56,430人で、前年度より68人の増、また、給水戸数は25,930戸で、前年度より492戸の増となっています。

また、総人口に対する普及率は77.88%で0.61ポイントの増となっています。

##### (2) 有収率（有収水量/配水量）

当年度は85.45%で、前年度より0.77ポイントの増となっています。これは、有収水量が0.41%（23,026 $\text{m}^3$ ）増加したのに対し、配水量が0.5%（32,966 $\text{m}^3$ ）減少したことによるものです。

##### (3) 給水原価＝1 $\text{m}^3$ 当り費用〔経常費用－長期前受金戻入/有収水量〕

当年度は163.75円（前年度159.36円）で前年度より4.39円の増となっています。これは、前年度に比べて長期前受金戻入（営業外収益）が3.85%増加し、有収水量が0.41%増加したものの、経常費用が3.29%増加したことによるものです。

##### (4) 供給単価＝1 $\text{m}^3$ 当りの給水収益（給水収益/有収水量）

当年度は、205.22円（前年度204.44円）と前年度より0.78円（0.38%）の微増となっています。これは、給水収益の増加率0.79%に対し、有収水量の増加率0.41%が、やや下回ったことによるものです。

なお、その他については、次の業務実績表のとおりです。

## 業務実績表

項目	令和3年度	令和2年度	増減	前年度対比(%)	備考
総人口(人)	72,454	72,938	△ 484	99.34	年度末現在 市内総人口
計画給水人口(人)	64,000	64,000	0	100.00	拡張計画による給水人口
現在給水人口(人)	56,430	56,362	68	100.12	年度末現在 市内給水人口
普及率(%)	77.88	77.27	0.61	100.79	現在給水人口/総人口×100
給水戸数(戸)	25,930	25,438	492	101.93	年度末現在
配水量(m <sup>3</sup> )	6,575,953	6,608,919	△ 32,966	99.50	年間総配水量
有収水量(m <sup>3</sup> )	5,619,218	5,596,192	23,026	100.41	年間総有収水量
有収率(%)	85.45	84.68	0.77	100.91	有収水量 / 配水量×100
一日最大配水量(m <sup>3</sup> )	19,731	23,422	△ 3,691	84.24	令和3年12月31日
職員数(人)	16	16	0	100.00	年度末現在(令和2年度からは会計年度任用職員を含む)
給水原価(円)	163.75	159.36	4.39	102.75	(経常費用-長期前受金戻入) / 有収水量
供給単価(円)	205.22	204.44	0.78	100.38	給水収益/有収水量
導送配水管延長(km)	390.68	391.36	△ 0.68	99.83	年度末現在

## 2 予算・決算の対照について(税込)

### (1) 収益的収入及び支出について

水道事業の経常的な収支である収益的収入及び支出は、次のとおりです。

#### ① 収益的収入・・・(資料2の1参照) (単位:円、%)

区分	令和3年度	令和2年度	前年度比較
予算現額	1,490,969,000	1,466,011,000	24,958,000
決算額	1,548,814,274	1,528,087,780	20,726,494
予算額との増減	57,845,274	62,076,780	△ 4,231,506
収入率	103.88	104.23	△ 0.35

(ア) 予算現額に対する収入決算額

57,845,274円 (3.88%) の増です。

・増となった主なもの

給水収益	33,571,860円 ( 2.72%)
納付金	19,382,000円 (51.88%)
長期前受金戻入	5,476,911円 ( 2.90%)

(イ) 決算額 (税込) の前年度比較

当年度は前年度に比べ20,726,494円 (1.36%) の増です。

・増となった主なもの

給水収益	9,992,235円 ( 0.79%)
長期前受金戻入	7,210,900円 ( 3.85%)
納付金	7,181,800円 (14.49%)

② 収益的支出・・・ (資料2の2参照)

(単位：円、%)

区 分	令和3年度	令和2年度	前年度比較
予 算 現 額	1,259,302,000	1,212,409,000	46,893,000
決 算 額	1,202,012,293	1,161,149,766	40,862,527
不 用 額	57,289,707	51,259,234	6,030,473
執 行 率	95.45	95.77	△ 0.32

(ア) 予算現額に対する支出決算額

当年度の支出決算額は1,202,012,293円 (95.45%) で、57,289,707円 (4.55%) が不用額として計上されています。

(イ) 不用額

57,289,707円で主なものは、1項 営業費用50,553,736円、3項 特別損失の過年度損益修正損1,162,235円です。

1項 営業費用の内訳の主なものは、次のとおりです。

原水及び浄水費	26,378,441円 (5.34%)
---------	---------------------

(ウ) 決算額 (税込) の前年度比較

当年度は前年度に比べ40,862,527円 (3.52%) の増です。

・増となった主なもの

減価償却費	21,130,248円 ( 5.04%)
原水及び浄水費	14,490,710円 ( 3.20%)
消費税及び地方消費税	3,569,300円 (11.96%)

(エ) 予算に対する執行状況

1 項 営業費用

決算額は1,143,649,264円で執行率95.77%です。

その内訳の主なものは、次のとおりです。

1 目 原水及び浄水費	467,249,559円 (執行率 94.66%)
2 目 配水及び給水費	112,288,192円 (執行率 89.83%)
3 目 総係費	110,846,912円 (執行率 93.26%)
4 目 減価償却費	440,355,427円 (執行率 99.24%)
5 目 資産減耗費	12,909,174円 (執行率 99.29%)

2 項 営業外費用

決算額は57,025,264円 (執行率99.01%) です。

その内訳の主なものは、次のとおりです。

1 目 支払利息	23,596,354円 (執行率100.00%)
3 目 消費税及び地方消費税	33,421,900円 (執行率98.32%)

3 項 特別損失

決算額は1,337,765円 (執行率は53.49%) です。

これは過年度損益修正損によるものです。

予備費の充用は行われていません。

(2) 資本的収入及び支出について

水道事業の建設改良及びこれに関連する企業債の収支である資本的収入及び支出は、次のとおりです。

① 資本的収入・・・(資料2の3参照)

(単位：円、%)

区 分	令和3年度	令和2年度	前年度比較
予 算 現 額	225,891,000	341,411,000	△ 115,520,000
決 算 額	223,507,402	359,561,067	△ 136,053,665
予算額との増減	△ 2,383,598	18,150,067	△ 20,533,665
収 入 率	98.94	105.32	△ 6.37

(ア) 予算現額に対する収入決算額

2,383,598円 (1.06%) の減です。

これは主に、工事負担金25,602,598円 (31.59%) の減によるものです。

(イ) 決算額 (税込) の前年度比較

当年度は前年度に比べ136,053,665円 (37.84%) の減です。

・増となったもの

工事負担金 35,513,335円 (178.24%)

出資金 4,400,000円 (53.66%)

・減となったもの

企業債 91,300,000円 (62.28%)

国庫補助金 77,990,000円 (62.05%)

施設分担金 6,677,000円 (11.29%)

② 資本的支出・・・ (資料2の4参照)

(単位：円、%)

区 分	令和3年度	令和2年度	前年度比較
予 算 現 額	883,163,000	907,426,000	△ 24,263,000
決 算 額	606,186,737	698,528,315	△ 92,341,578
翌年度繰越額	145,860,000	0	145,860,000
不 用 額	131,116,263	208,897,685	△ 77,781,422
執行率(繰越を除く)	82.22	76.98	5.24

(ア) 予算現額に対する支出決算額

当年度の支出決算額は606,186,737円 (82.22%) で、131,116,263円 (17.78%) が不用額として計上されています。

(イ) 不用額

131,116,263円で主なものは、1項 建設改良費114,326,005円です。

その内訳は、

配水設備費 85,488,341円 (18.68%)

第5次拡張事業費 10,427,867円 (17.98%)

重要給水施設配水管事業費 9,566,423円 (21.47%)

営業設備費 7,038,110円 (31.71%)

老朽管更新事業費 1,805,264円 (2.75%)

(ウ) 決算額（税込）の前年度比較

当年度は前年度に比べ92,341,578円（13.22%）の減となっています。

この減額は、建設改良費96,712,709円（15.34%）です。

・増となった主なもの

配水設備費	148,152,955円（66.16%）
第5次拡張事業費	19,189,750円（67.58%）

・減となった主なもの

重要給水施設配水管事業費	142,925,163円（80.33%）
水道機能維持施設整備事業費	108,570,000円（皆減）
老朽管更新事業費	17,881,123円（21.87%）

(エ) 予算に対する執行状況

1 項 建設改良費

533,691,995円で執行率82.36%です。

その内訳は、

1 目 配水設備費	372,096,659円（執行率81.32%）
2 目 営業設備費	15,159,890円（執行率68.29%）
4 目 第5次拡張事業費	47,584,133円（執行率82.02%）
7 目 老朽管更新事業費	63,862,736円（執行率97.25%）
8 目 重要給水施設配水管事業費	34,988,577円（執行率78.53%）

2 項 企業債償還金

72,494,742円（執行率100.00%）です。

その内訳は、

財務省資金運用部	28,808,988円
地方公共団体金融機構	43,685,754円

また、予備費の充用は行われていません。

決算収支については、資本的収入額223,507,402円から支出額606,186,737円を差し引いた額382,679,335円は資金不足となりますが、当年度分損益勘定留保資金258,819,690円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額42,321,094円、過年度分損益勘定留保資金81,538,551円で補てんされています。

3 企業債について

予算第5条の中で定められた起債の限度額は下記のとおりで、いずれも利率は3.0

%以内で償還期限は40年度間以内と定められています。

第5次拡張事業	25,200千円（借入額 12,600千円）
老朽管更新事業	25,000千円（借入額 25,000千円）
重要給水施設配水管事業	17,700千円（借入額 17,700千円）

また、借入額は予算に定める限度額の範囲内となっており、いずれも利率は0.70%、償還期限は30年となっています。

#### 4 予算の流用禁止科目について

予算第6条により、議会の議決を経なければ流用することのできない経費（職員給与費89,429千円及び交際費300千円）は、いずれも流用は行われていません。

#### 5 他会計からの補助金について

予算第7条で、一般会計からの補助金額は20,807千円が計上されており、当年度は21,907千円（税込）の繰入でした。

#### 6 たな卸資産（貯蔵品）購入限度額について

予算第8条で、たな卸資産の購入限度額は30,000千円と定められており、当年度の購入額（貯蔵品）は17,045,259円（うち仮払消費税1,549,569円）で限度額内の執行でした。

#### 7 経営成績（損益計算書）について（税抜、資料3の1、3の2、4、5参照）

経営成績（損益計算書）

（単位：円、%）

区 分	令和3年度	令和2年度	前年度比較	前年度対比
総 収 益	1,428,105,998	1,407,896,451	20,209,547	101.44
総 費 用	1,115,791,543	1,079,427,562	36,363,981	103.37
純 利 益	312,314,455	328,468,889	△ 16,154,434	95.08

当年度の純利益は、前年度の純利益に対し16,154,434円の減（4.92%）となっています。

## (1) 収益について

表1 損益計算書(税抜)・・・(資料3の2参照)

(単位:円、%)

区 分		令和3年度		令和2年度		決算額対前 年度増減額	前年度 対比
		決算額	構成比	決算額	構成比		
1. 営業収益		1,209,322,996	84.68	1,197,107,642	85.03	12,215,354	101.02
内 訳	給水収益	1,153,156,896	80.75	1,144,070,551	81.26	9,086,345	100.79
	水道納付金	51,580,000	3.61	45,051,092	3.20	6,528,908	114.49
	その他の収益	4,586,100	0.32	7,985,999	0.57	△3,399,899	57.43
2. 営業外収益		218,783,002	15.32	210,137,989	14.93	8,645,013	104.11
内 訳	受取利息及び 配当金	1,002,246	0.07	1,946,095	0.14	△943,849	51.50
	他会計補助金	20,387,364	1.43	20,011,670	1.42	375,694	101.88
	長期前受金戻入	194,444,911	13.62	187,234,011	13.30	7,210,900	103.85
	雑収益	2,948,481	0.21	946,213	0.07	2,002,268	311.61
3. 特別利益		0	0.00	650,820	0.05	△650,820	0.00
合 計		1,428,105,998	100.00	1,407,896,451	100.00	20,209,547	101.44

## (ア) 総収益

1,428,105,998円で、前年度より20,209,547円(1.44%)の増となっています。

この収益増の主なものは、営業収益の給水収益9,086,345円の増によるものです。

収入状況は、次表のとおりです。

表2 事業収益収入状況(税込)・・・(資料2の1参照)

(単位:円、%)

区 分		調 定 額	収 入 済 額	不納欠損額	収入未済額	収入率
1. 営業収益		1,329,593,960	1,303,793,215	0	25,800,745	98.06
内 訳	給水収益	1,268,269,860	1,252,144,815	0	16,125,045	98.73
	水道納付金	56,738,000	47,344,000	0	9,394,000	83.44
	その他の営業収益	4,586,100	4,304,400	0	281,700	93.86
2. 営業外収益		219,220,314	208,063,121	0	11,157,193	94.91
3. 特別利益		0	0	0	0	—
合 計		1,548,814,274	1,511,856,336	0	36,957,938	97.61

※上記には滞納繰越分は含んでおりません。

(ア) 営業収益の収入率

給水収益の収入率（現年度分）は、98.73%で前年度98.76%より0.03ポイント低下しています。

水道納付金の収入率は、83.44%で前年度93.43%より9.99ポイント低下しています。

(イ) 営業外収益の収入率

94.91%で前年度94.55%より0.36ポイント上昇しています。

なお、この営業外収益の収入未済となったものは、他会計補助金10,449,100円（下水道料金徴収負担金等）、雑収益708,093円（水道光熱費負担金等）です。

また、滞納繰越分の給水収益の収入状況は、次表のとおりです。

表3 滞納繰越分収入状況

（単位：円）

決算年度	区分	調定額	収入済額	収入率(%)	不納欠損額	収入未済額
令和 3年度	滞納繰越分 給水収益	19,135,530	15,020,990	78.50	283,230	3,831,310
令和 2年度	滞納繰越分 給水収益	20,107,165	16,495,635	82.04	0	3,611,530

(ア) 滞納繰越分の収入率

滞納繰越分収入率は78.50%で、前年度82.04%より3.54ポイント低下しています。なお、給水収益の滞納繰越分を含んだ当年度の給水収益の収入率は98.43%で、前年度98.49%より0.06ポイント低下しています。

(イ) 滞納繰越分の不納欠損額

283,230円で、前年度額0円より283,230円（皆増）の増です。その内容は、平成26年度から平成30年度まで計89月分（36件）の水道使用料未収入分で、使用者の破産、所在不明により処分したのとなっています。

(2) 費用について

総費用を部門別に前年度と比較してみると、次表のとおりです。

表 4 部門別費用構成表(税抜)・・・(資料3の1、資料4参照)

(単位：円)

区 分		令和3年度		令和2年度		前年度増減額	前年度対比(%)
		決算額	構成比率(%)	決算額	構成比率(%)		
営業費用	原水及び浄水費	426,543,271	38.23	413,279,488	38.29	13,263,783	103.21
	配水及び給水費	106,020,939	9.50	106,387,269	9.86	△ 366,330	99.66
	総 係 費	104,153,955	9.33	102,372,294	9.48	1,781,661	101.74
	減価償却費	440,355,427	39.47	419,225,179	38.84	21,130,248	105.04
	資産減耗費	12,909,174	1.16	12,583,849	1.17	325,325	102.59
営業外費用	支払利息	23,596,354	2.11	24,389,803	2.26	△ 793,449	96.75
	雑 支 出	996,243	0.09	814,841	0.08	181,402	122.26
特別損失	固定資産売却損	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	過年度損益修正損	1,216,180	0.11	374,839	0.03	841,341	324.45
合 計		1,115,791,543	100.00	1,079,427,562	100.00	36,363,981	103.37

## (ア) 総費用について

当年度の総費用は、1,115,791,543円で前年度1,079,427,562円より36,363,981円(3.37%)の増です。

次に、当年度の総費用を性質別(主なもの)で前年度決算額と比較してみると、次表のとおりです。

表 5 性質別費用構成表・・・(資料5参照)

(単位：円)

区 分	令和3年度		令和2年度		前年度増減額	前年度対比(%)
	決算額	構成比率(%)	決算額	構成比率(%)		
人件費	91,720,914	8.22	88,474,909	8.20	3,246,005	103.67
減価償却費	440,355,427	39.47	419,225,179	38.84	21,130,248	105.04
支払利息	23,596,354	2.11	24,389,803	2.26	△ 793,449	96.75
動力費	49,632,067	4.45	43,391,040	4.02	6,241,027	114.38
修繕費	58,781,620	5.27	56,966,054	5.28	1,815,566	103.19
薬品費	4,500	0.00	5,400	0.00	△ 900	83.33

委託料	235,576,219	21.11	235,037,220	21.77	538,999	100.23
受水費	166,440,000	14.92	166,296,600	15.41	143,400	100.09
その他	49,684,442	4.45	45,641,357	4.23	4,043,085	108.86
合計	1,115,791,543	100.00	1,079,427,562	100.00	36,363,981	103.37

この費用増の主な要因は、減価償却費21,130,248円（5.04%）及び動力費6,241,027円（14.38%）の増によるものです。

以上が、損益収支の概要です。

## 8 剰余金計算書について

前年度繰越利益剰余金2,030,068,566円（前年度未処分利益剰余金2,350,068,566円から減債積立金20,000,000円、建設改良積立金300,000,000円を除いた額）に当年度純利益312,314,455円を加えた額2,342,383,021円は、当年度未処分利益剰余金として計上されていることを確認しました。

なお、毎事業年度の利益（当年度純利益）については、地方公営企業法第32条により、毎事業年度生じた利益の処分は条例の定めによるか又は議会の議決を経て行わなければならないとされています。

当年度の未処分利益剰余金の処分は、予定されていません。

## 9 財政状況（貸借対照表）について（税抜、資料6の1、6の2参照）

### (1) 資産について

当年度の総資産12,959,673,458円は前年度12,707,786,346円より251,887,112円（1.98%）の増となっています。

#### ① 固定資産

##### ・増となった主なもの

構築物（有形固定資産）	82,413,304円（1.12%）
建設仮勘定（有形固定資産）	19,981,502円（皆増）

##### ・減となった主なもの

機械及び装置（有形固定資産）	47,146,504円（4.85%）
ダム使用权（無形固定資産）	12,372,251円（5.68%）

#### ② 流動資産

##### ・増となった主なもの

現金預金	248,676,900円（8.50%）
------	---------------------

・減となったもの

未収金 70,650,988円 (42.21%)

(2) 負債について

当年度の負債総額は5,745,930,101円で前年度5,806,357,444円より60,427,343円(1.04%)の減となっています。

① 固定負債

・減となったもの

企業債 19,012,857円 (1.03%)

② 流動負債

・増となった主なもの

その他流動負債 30,573,737円 (1652.32%)

・減となった主なもの

未払金 32,820,702円 (13.99%)

③ 繰延収益

・減となったもの

長期前受金 40,383,636円 (1.11%)

(3) 資本について

当年度の資本総額7,213,743,357円(資本金と剰余金の合計)は、前年度6,901,428,902円より312,314,455円(4.53%)の増となっています。

① 資本金

当年度の増減はありません。

② 剰余金

・増となったもの

建設改良積立金(利益剰余金) 300,000,000円 (10.71%)

減債積立金(利益剰余金) 20,000,000円 (7.60%)

・減となったもの

当年度未処分利益剰余金(利益剰余金) 7,685,545円 (0.33%)

(4) キャッシュ・フローについて

キャッシュ・フローの状況は次表のとおりです。

表6 キャッシュ・フローの状況（間接法）

（単位：円）

区分	令和3年度	令和2年度	前年度増減額	前年度対比 (%)
業務活動による キャッシュ・フロー	637,411,268	433,973,853	203,437,415	146.88
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 332,539,626	△ 366,331,680	33,792,054	90.78
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 17,194,742	78,476,389	△ 95,671,131	—
資金増加額 (△は減少額)	287,676,900	146,118,562	141,558,338	196.88
資金期首残高	3,385,437,905	3,239,319,343	146,118,562	104.51
資金期末残高	3,673,114,805	3,385,437,905	287,676,900	108.50

事業本来の業務活動による資金収支を示す業務活動によるキャッシュ・フローは、前年度より203,437,415円の増となっています。固定資産や投資資産の取得・売却などの収支を示す投資活動によるキャッシュ・フローは、前年度より33,792,054円の増となっています。また、企業債の借入・償還など資金の調達を示す財務活動によるキャッシュ・フローは、前年度より95,671,131円の減となっています。

資金が前年度より287,676,900円増加した主な要因は、当年度において、投資活動及び財務活動における資金の減少はあったものの、業務活動において未収金が減少したこと等によるものです。

## 10 経営分析（資料1参照）

総務省の水道事業経営指標のうち、代表的な指標に基づく経営分析の要約は、次のとおりです。（全国平均、類似団体平均は2年度表示）

### (1) 事業の概況について

普及率は77.9%であり、全国平均（94.4%）や類似団体平均（93.0%）と比較して低い水準となっています。

また、需要構造については、有収水量に占める家庭用水量の割合が非常に高く

(95.44%)、平均有収水量(273リットル)も全国平均(298リットル)や類似団体平均(304リットル)を下回っていることから、業務用等の大口使用者が少ないものと考えられます。

有形固定資産減価償却率(50.8%)は、全国平均(50.2%)や類似団体平均(49.2%)と同程度であり、施設の更新時期を迎えていると考えられます。

## (2) 施設の効率性について

小口である家庭用水量が中心であることから、配水管使用効率(16.83 $\text{m}^3/\text{m}$ )が全国平均(20.14 $\text{m}^3/\text{m}$ )を下回るなど、投資効率は比較的低い状況にありますが、施設利用率(75.7%)は全国平均(60.7%)や類似団体平均(59.9%)を大きく上回っており、有効に施設が利用されていると思われま

す。また、有収率(85.5%)については、前年度より0.8ポイント上昇しておりますが、全国平均(89.8%)よりも4.3ポイント、類似団体平均(87.3%)よりも1.8ポイント下回っています。

## (3) 経営の効率性について

累積欠損金は生じてなく、また、総収支比率、経常収支比率、料金回収率はいずれも100%を超えており、比較的健全な経営状況であると言えます。また、職員1人当たりの給水収益も全国平均を上回るとともに、給水収益に対する職員給与費の割合も低いことから、生産性は高い状況です。

繰入金比率をみると、収益的収入分(1.4%)は、全国平均や類似団体平均を下回り、また、資本的収入分(30.4%)については全国平均や類似団体平均を上回っています。

## (4) 財務の状況について

短期の支払能力を示す当座比率は1,187.5%で、一応安全な数値とされる100%を大きく上回っており、財務状況は良好であると判断されます。

総資本に占める自己資本の割合を示すもので、比率が高いほど経営の安定性が高いとされる自己資本構成比率は、83.5%で、前年度に比べ0.5ポイント上昇しています。

固定資産の調達自己資本と固定負債の範囲内で行われるべきであるとの立場から、100%以下が望ましいとされる固定資産対長期資本比率は、72.7%で、前年度に比べ1.2ポイント低くなり、財務状況は向上しています。

## 11 むすび

令和3年度水道事業会計決算は、前年同様の黒字決算となっています。

当年度純利益312,314,455円は前年度純利益328,468,889円より16,154,434円減少し、前年度比率は95.08%となり、この純利益が前年度に比べて少なかった主な要因は、総収益が前年度より増加(20,209,547円)したものの、総費用が前年度より増加(36,363,981円)したことによるものです。

次に、当年度決算における事業実績及び収益的収支の経営状況について、その概略を前年度と対比して述べます。

業務実績では、給水戸数は492戸(1.93%)の増となっており、給水人口も68人(0.12%)の増で、普及率は0.61ポイントの増となっています。また、水量等の前年対比では、配水量99.50%、有収水量100.41%で、それぞれ微減、微増となっています。有収率は85.45%で前年度84.68%より0.77ポイント上昇しています。今後も引き続きこの率の向上に努力願います。

次に、水道事業収益の主となる給水収益(税込)は、0.79%(約999万円)の増となっています。

収益の根幹となる水道料金の収入率を見ると、当年度(現年度分)は98.73%で、前年度98.76%より0.03ポイントの微減となっており、滞納繰越分の収入率は78.50%で、前年度82.04%より3.54ポイント低下しています。

水道使用料の収入率については、平成25年度以降、98%以上を維持しており、夜間訪問などの収納対策にも取り組み、関係職員の努力が見られるところです。水道使用料については使用者負担の公平の原則から、今後とも、引き続き収入率の向上と収入未済額の縮減に、なお一層の努力をされることを期待します。

また、水道事業費用(税込)の前年度対比では、営業費用は103.36%、営業外費用は105.12%、特別損失は324.81%で、費用全体では103.52%で、金額にして前年度より約4,086万円の増となっています。

次に、資本的収支の収入については、第5次拡張事業、老朽管更新事業、重要給水施設配水管事業に係わる企業債及び国庫補助金、その他施設分担金などの収入が行われています。

なお、水道事業の建設改良経費であるこの資本的支出については、今後、耐用年数を超えた埋設管及び重要給水施設配水管の布設替え並びに老朽化した浄水場施設の更

新など多額の経費が必要になると考えられます。

次に、決算における経営状況の分析については、経営の効率性も利益率が高く健全な経営状況であると言えます。また、施設の効率性を示す施設利用率は、比較的有効に施設が利用されています。

以上、令和3年度決算における経営状況の一端を述べてきましたが、当年度も前年度に引き続き経常黒字の健全な経営状況が保たれています。

水は、市民生活の根幹を支える最も重要なものであり、第6次行橋市総合計画の水道事業の基本方針である安全でおいしい水を安定的に供給することはもとより、公営企業の基本原則である経済性の発揮及び本来の目的である公共福祉の増進に努めることを願います。

## 水道事業会計

### 資 料 目 次

資 料 1	経営分析表	・ ・ ・ ・ ・	19
資 料 2 の 1	予算決算対照比較表（収益的收入）	・ ・ ・ ・ ・	21
資 料 2 の 2	予算決算対照比較表（収益の支出）	・ ・ ・ ・ ・	22
資 料 2 の 3	予算決算対照比較表（資本的收入）	・ ・ ・ ・ ・	23
資 料 2 の 4	予算決算対照比較表（資本の支出）	・ ・ ・ ・ ・	24
資 料 3 の 1	比較損益計算書(借方)	・ ・ ・ ・ ・	25
資 料 3 の 2	比較損益計算書(貸方)	・ ・ ・ ・ ・	26
資 料 4	費用使途別比率表	・ ・ ・ ・ ・	27
資 料 5	費用節別比較表	・ ・ ・ ・ ・	28
資 料 6 の 1	比較貸借対照表(借方)	・ ・ ・ ・ ・	29
資 料 6 の 2	比較貸借対照表(貸方)	・ ・ ・ ・ ・	30
資 料 7	比較剰余金計算書	・ ・ ・ ・ ・	31

# 経 営 分 析 表

資料 1

分 析 項 目	行橋市			類似団体平均 (2年度)	全国平均 (2年度)
	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
1. 事業の概況					
普及率 (%)	76.9	77.3	77.9	93.0	94.4
平均有収水量 (L)	267	272	273	304	298
有形固定資産減価償却率 (%)	49.0	48.6	50.8	49.2	50.2
2. 施設の効率性					
施設利用率 (%)	79.5	76.1	75.7	59.9	60.7
有収率 (%)	86.1	84.7	85.5	87.3	89.8
配水管使用効率 (m <sup>3</sup> /m)	17.80	16.89	16.83	14.96	20.14
3. 経営の効率性					
総収支比率 (%)	134.2	130.4	128.0	110.7	110.4
経常収支比率 (%)	134.6	130.4	128.1	110.9	110.3
累積欠損金比率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.9	1.2
繰入金比率 (収益的収入分) (%)	1.2	1.4	1.4	3.6	2.6
繰入金比率 (資本的収入分) (%)	6.9	7.9	30.4	16.6	14.5
職員1人当たり給水人口 (人)	4,322	3,523	3,527	3,663	3,290
職員1人当たり給水収益 (千円)	87,278	71,504	72,072	68,600	59,663
給水収益に対する割合					
うち職員給与費 (%)	6.9	7.7	7.9	9.7	12.4
うち企業債利息 (%)	2.3	2.1	2.1	5.1	4.3
うち減価償却費 (%)	35.4	36.6	38.2	44.2	40.1
料金回収率 (%)	132.3	128.3	125.3	100.8	100.1
1カ月20m <sup>3</sup> 当たり家庭用料金 (円)	4,020	4,020	4,020	3,120	3,285
4. 財務の状況					
当座比率 (%)	945.5	1,115.5	1,187.5	333.3	245.9
自己資本構成比率 (%)	82.8	83.0	83.5	71.7	72.4
固定資産対長期資本比率 (%)	75.2	73.9	72.7	90.0	92.5

1. 総務省の水道事業経営指標のうち代表的な指標に基づき分析をしたものです。

算 式	分 析 の 見 方
	普及率、平均有収水量、有形固定資産減価償却率により、事業の概況をみる。
現在給水人口 / 行政区域内人口 ×100	行政区域内人口に対する現在給水人口の割合を示すもので、大きいほどよい。
1日平均有収水量 / 現在給水人口 ×1000	一人に対して供給した1日平均有収水量である。
有形固定資産減価償却累計額 / 有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価 ×100	償却資産における減価償却済みの部分の割合を示す比率で、減価償却の進み具合や資産の経過年数を知ることができる。当比率の向上は、相対的に減価償却費の減少を意味するが、同時に施設の老朽化の度合いを示していることから、将来の施設更新の必要性や今後の修繕費の発生見込みを推測し、今後の設備投資計画を立てる際の参考とすることができる。
	水道事業は施設型の事業であり、適切な投資が行われているか否かが経営を左右することになる。投資が適切であるか否かは、施設の効率性を分析することにより判断することができる。ここでは、施設利用率、有収率、配水管使用効率という代表的な指標を用いて施設の効率性を考察する。
1日平均配水量 / 1日配水能力 ×100	1日配水能力に対する1日平均配水量の割合を示すもので、施設の利用状況を総合的に判断する上で重要な指標である。
年間総有収水量 / 年間総配水量 ×100	施設の稼働状況がそのまま収益につながっているかについては、有収率で確認することが重要である。有収率が低いということは、漏水が多いこと、メーターの不感、公共用水、消防用水等いくつかの要因が考えられる。
年間総配水量 / 導送配水管延長	導・送・配水管の敷設延長に対する年間総配水量の割合で、給水区域内における人口密度の影響を受ける。当該比率が高いほど施設効率が高いと言えるが、一方で給水安定性向上を目的とした管網整備の推進は当該比率の低下要因となることから、施設効率と給水安定性とのバランスを踏まえた目標設定が必要である。
	経営の効率性の項目では、収支の均衡度（収支比率）、繰入金の割合、生産性等、経営状況に関する代表的な指標を用いて分析を行う。
総収益 / 総費用 ×100	総収益と総費用を対比したもので、総収益が総費用を超えた（100%以上）の場合には純利益があることを示し、満たない（100%未満）場合には欠損金が生じていることを示す。
営業収益+営業外収益 / 営業費用+営業外費用 ×100	経常収益（営業収益+営業外収益）と経常費用（営業費用+営業外費用）を対比したもので、100%以上で比率が高いほど経常利益率が高いことを示し、100%未満は経常損失が生じていることを示す。
累積欠損金 / 営業収益-受託工事収益 ×100	事業体の経営状況が健全な状態にあるかどうかを、累積欠損金の有無により把握しようとするもので、営業収益に対する累積欠損金の割合をいう。
損益勘定繰入金 / 収益的収入 ×100	収益的収入における繰入金への依存度を分析するもので、収支比率に与える影響を考察するうえで重要である。
資本勘定繰入金 / 資本的収入 ×100	資本的収入における繰入金への依存度を分析するもので、収支比率に与える影響を考察するうえで重要である。
現在給水人口 / 損益勘定所属職員数	損益勘定所属職員1人あたりの生産性について、給水人口を基準として把握するための指標である。
給水収益 / 損益勘定所属職員数	損益勘定所属職員1人あたりの生産性について、給水収益を基準として把握するための指標である。
職員給与費 / 給水収益 ×100	給水収益に対する職員給与費の比率を示した指標である。
企業債利息 / 給水収益 ×100	給水収益に対する企業債利息の比率を示した指標である。
減価償却費 / 給水収益 ×100	給水収益に対する減価償却費の比率を示した指標である。
供給単価 / 給水原価 ×100	供給単価と給水単価との関係をみるもので、料金回収率が100%を下回っている場合、給水にかかる費用が水道料金による収入以外に他の収入で賄われていることを意味する。
税込みの金額	
	財務の安全性（健全性）または設備投資の妥当性を見る指標として、以下の指標を用いる。
現金預金+未収金 / 流動負債 ×100	支払義務としての流動負債に対する支払手段としての当座資産（流動資産のうち、現金・預金、換金性の高い未収金等）の割合を示すもので、短期の支払能力を表し、100%以上が理想とされている。
資本金+剰余金+繰延収益 / 負債+資本合計 ×100	総資本の中で負債及び借入資本金を除いた外部への返済を要しない自己資本がどの程度占めているかを示すもので、比率が高いほど財政状態が健全である。
固定資産 / 資本金+剰余金+固定負債+繰延収益 ×100	固定資産の調達には自己資本と固定負債の範囲内で行われるのが原則であり、この比率は100%以下が望ましい。

2. 資料中2年度の全国平均及び類似団体平均の指数計数は、令和2年度地方公営企業決算状況調査を基礎として、令和4年3月に総務省が発表したものです。 3. 類似団体とは、給水人口5万人以上10万人未満です。

予算決算対照比較表（収益的収入）

資料2の1

（単位：円）

科 目 目 目 （款・項・目）	予算現額 （令和3年度）	構成比率 （%）	決算額 （令和3年度）	構成比率 （%）	予算現額に比べ決 算額の増減	決算額の 予算現額に 対する比率	前年度決算額 （令和2年度）	構成比率 （%）	決算額の対 前年増減額 （3-2）	決算額対 前年比率 （3対2）	本年度決算額の内訳	
											税抜決算額	仮受消費税
1. 営業収益	1,276,047,000	85.59	1,329,593,960	85.85	53,546,960	104.20	1,316,095,774	86.13	13,498,186	101.03	1,209,322,996	120,270,964
(1) 給水収益	1,234,698,000	82.81	1,268,269,860	81.89	33,571,860	102.72	1,258,277,625	82.34	9,992,235	100.79	1,153,156,896	115,112,964
(2) 納付金	37,356,000	2.51	56,738,000	3.66	19,382,000	151.88	49,556,200	3.24	7,181,800	114.49	51,580,000	5,158,000
(3) その他 営業収益	3,993,000	0.27	4,586,100	0.30	593,100	114.85	8,261,949	0.54	△ 3,675,849	55.51	4,586,100	0
2. 営業外収益	214,920,000	14.41	219,220,314	14.15	4,300,314	102.00	211,289,121	13.83	7,931,193	103.75	217,700,302	1,520,012
(1) 受取利息 及び配当金	2,175,000	0.15	1,002,246	0.06	△ 1,172,754	46.08	1,946,095	0.13	△ 943,849	51.50	1,002,246	0
(2) 他会計補助金	20,807,000	1.40	21,907,200	1.41	1,100,200	105.29	21,712,936	1.42	194,264	100.89	20,387,364	1,519,836
(3) 長期前受金戻入	188,968,000	12.67	194,444,911	12.55	5,476,911	102.90	187,234,011	12.25	7,210,900	103.85	194,444,911	0
(4) 雑収益	2,970,000	0.20	1,865,957	0.12	△ 1,104,043	62.83	396,079	0.03	1,469,878	471.11	1,865,957	176
3. 特別利益	2,000	0.00	0	0.00	△ 2,000	0.00	702,885	0.05	△ 702,885	0.00	0	0
(1) 固定資産売却益	1,000	0.00	0	0.00	△ 1,000	0.00	0	0.00	0	—	0	0
(2) 過年度損益修正益	1,000	0.00	0	0.00	△ 1,000	0.00	702,885	0.05	△ 702,885	0.00	0	0
合 計	1,490,969,000	100.00	1,548,814,274	100.00	57,845,274	103.88	1,528,087,780	100.00	20,726,494	101.36	1,427,023,298	121,790,976

予算決算対照比較表（収益的支出）

資料2の2

（単位：円）

科目 (款・項・目)	予算現額 (令和3年度)	構成比率 (%)	決算額 (令和3年度)	構成比率 (%)	不用額	決算額の 予算現額に 対する比率	前年度決算額 (令和2年度)	構成比率 (%)	決算額の対 前年増減額 (3-2)	決算額対 前年比率 (3対2)	本年度決算額の内訳	
											税抜決算額	仮払消費税
1. 営業費用	1,194,203,000	94.83	1,143,649,264	95.14	50,553,736	95.77	1,106,492,121	95.29	37,157,143	103.36	1,089,982,766	53,666,498
(1) 原水及び浄水費	493,628,000	39.20	467,249,559	38.87	26,378,441	94.66	452,758,849	38.99	14,490,710	103.20	426,543,271	40,706,288
(2) 配水及び給水費	125,000,000	9.93	112,288,192	9.34	12,711,808	89.83	112,763,946	9.71	△ 475,754	99.58	106,020,939	6,267,253
(3) 総係費	118,859,000	9.44	110,846,912	9.22	8,012,088	93.26	109,160,298	9.40	1,686,614	101.55	104,153,955	6,692,957
(4) 減価償却費	443,713,000	35.23	440,355,427	36.63	3,357,573	99.24	419,225,179	36.10	21,130,248	105.04	440,355,427	0
(5) 資産減耗費	13,001,000	1.03	12,909,174	1.07	91,826	99.29	12,583,849	1.08	325,325	102.59	12,909,174	0
(6) その他営業費用	2,000	0.00	0	0.00	2,000	0.00	0	0.00	0	—	0	0
2. 営業外費用	57,598,000	4.57	57,025,264	4.74	572,736	99.01	54,245,790	4.67	2,779,474	105.12	57,025,264	0
(1) 支払利息	23,597,000	1.87	23,596,354	1.96	646	100.00	24,389,803	2.10	△ 793,449	96.75	23,596,354	0
(2) 雑支出	8,000	0.00	7,010	0.00	990	87.63	3,387	0.00	3,623	206.97	7,010	0
(3) 消費税及び地方消費税	33,993,000	2.70	33,421,900	2.78	571,100	98.32	29,852,600	2.57	3,569,300	111.96	33,421,900	0
3. 特別損失	2,501,000	0.20	1,337,765	0.11	1,163,235	53.49	411,855	0.04	925,910	324.81	1,216,180	121,585
(1) 固定資産売却損	1,000	0.00	0	0.00	1,000	0.00	0	0.00	0	—	0	0
(2) 過年度損益修正損	2,500,000	0.20	1,337,765	0.11	1,162,235	53.51	411,855	0.04	925,910	324.81	1,216,180	121,585
4. 予備費	5,000,000	0.40	0	0.00	5,000,000	0.00	0	0.00	0	—	0	0
合計	1,259,302,000	100.00	1,202,012,293	100.00	57,289,707	95.45	1,161,149,766	100.00	40,862,527	103.52	1,148,224,210	53,788,083

※予算現額欄には予算流用後の金額を記載しています。

予算決算対照比較表(資本的収入)

資料2の3

(単位:円)

科目 (款・項・目)	予算現額 (令和3年度)	構成比率 (%)	決算額 (令和3年度)	構成比率 (%)	予算現額に比べ決算額の増減	決算額の 予算現額に 対する比率	前年度決算額 (令和2年度)	構成比率 (%)	決算額の対 前年増減額 (3-2)	決算額対 前年比率 (3対2)	本年度決算額の内訳	
											税抜決算額	仮受消費税
1. 企業債	55,300,000	24.48	55,300,000	24.74	0	100.00	146,600,000	40.77	△ 91,300,000	37.72	55,300,000	0
2. 出資金	12,600,000	5.58	12,600,000	5.64	0	100.00	8,200,000	2.28	4,400,000	153.66	12,600,000	0
3. 固定資産売却代金	1,000	0.00	0	0.00	△ 1,000	0.00	0	0.00	0	-	0	0
4. 負担金	81,040,000	35.88	55,437,402	24.80	△ 25,602,598	68.41	19,924,067	5.54	35,513,335	278.24	55,437,402	0
(1) 工事負担金	45,600,000	20.19	47,700,000	21.34	2,100,000	104.61	125,690,000	34.96	△ 77,990,000	37.95	47,700,000	0
6. 施設分担金	31,350,000	13.88	52,470,000	23.48	21,120,000	167.37	59,147,000	16.45	△ 6,677,000	88.71	47,700,000	4,770,000
小計	225,891,000	25.58	223,507,402	36.87	△ 2,383,598	98.94	359,561,067	51.47	△ 136,053,665	62.16	218,737,402	4,770,000
補てん財源	657,272,000	74.42	382,679,335	63.13	△ 274,592,665	58.22	338,967,248	48.53	43,712,087	112.90	340,358,241	42,321,094
(1) 損益勘定留保資金	657,272,000	74.42	382,679,335	63.13	△ 274,592,665	58.22	338,967,248	48.53	43,712,087	112.90	340,358,241	42,321,094
合計	883,163,000	100.00	606,186,737	100.00	△ 276,976,263	68.64	698,528,315	100.00	△ 92,341,578	86.78	559,095,643	47,091,094

予算決算対照比較表（資本的支出）

資料2の4

（単位：円）

科目 (款・項・目)	予算現額 (令和3年度)	構成比率 (%)	決算額 (令和3年度)	構成比率 (%)	不用額	決算額の 予算現額に 対する比率	前年度決算額 (令和2年度)	構成比率 (%)	決算額の対 前年増減額 (3-2)	決算額対 前年比率 (3対2)	本年度決算額の内訳	
											税抜決算額	仮払消費税
1. 建設改良費	793,878,000	89.89	533,691,995	88.04	260,186,005	67.23	630,404,704	90.25	△ 96,712,709	84.66	486,600,901	47,091,094
(1) 配水設備費	603,445,000	68.33	372,096,659	61.38	231,348,341	61.66	223,943,704	32.06	148,152,955	166.16	338,298,697	33,797,962
(2) 営業設備費	22,198,000	2.51	15,159,890	2.50	7,038,110	68.29	9,839,018	1.41	5,320,872	154.08	15,051,790	108,100
(4) 第5次拡張事業費	58,012,000	6.57	47,584,133	7.85	10,427,867	82.02	28,394,383	4.06	19,189,750	167.58	43,261,601	4,322,532
(7) 老朽管更新事業費	65,668,000	7.44	63,862,736	10.54	1,805,264	97.25	81,743,859	11.70	△ 17,881,123	78.13	58,068,436	5,794,300
(8) 重要給水施設 配水管事業費	44,555,000	5.04	34,988,577	5.77	9,566,423	78.53	177,913,740	25.47	△ 142,925,163	19.67	31,920,377	3,068,200
(9) 水道機能維持施設 整備事業費	0	0.00	0	0.00	0	-	108,570,000	15.54	△ 108,570,000	0.00	0	0
2. 企業債償還金												
(1) 企業債償還金	72,495,000	8.21	72,494,742	11.96	258	100.00	68,123,611	9.75	4,371,131	106.42	72,494,742	0
3. 他会計借入金返還金												
(1) 他会計借入金返還金	0	0.00	0	0.00	0	-	0	0.00	0	-	0	0
4. 国庫補助金返還金												
(1) 国庫補助金返還金	11,790,000	1.33	0	0.00	11,790,000	0.00	0	0.00	0	-	0	0
5. 予備費												
(1) 予備費	5,000,000	0.57	0	0.00	5,000,000	0.00	0	0.00	0	-	0	0
合 計	883,163,000	100.00	606,186,737	100.00	276,976,263	68.64	698,528,315	100.00	△ 92,341,578	86.78	559,095,643	47,091,094

# 比較損益計算書(借方)

(すう勢比率は元年度を基準とする)

資料 3 の 1

(単位:円)

科 目	借				方				増 減	
	令和 3 年 度		令和 2 年 度		令和 3 年 度		令和 2 年 度		決 算 額	構 成 比 率
	決 算 額	構 成 比 率 (%)	すう 勢 (%)	決 算 額	構 成 比 率 (%)	すう 勢 (%)				
1. 営 業 費 用	1,089,982,766	97.69	107.67	1,053,848,079	97.63	104.10	36,134,687	0.06		
(1) 原水及び浄水費	426,543,271	38.23	108.73	413,279,488	38.29	105.35	13,263,783	△0.06		
(2) 配水及び給水費	106,020,939	9.50	99.65	106,387,269	9.86	100.00	△ 366,330	△0.36		
(3) 総 係 費	104,153,955	9.33	104.48	102,372,294	9.48	102.69	1,781,661	△0.15		
(4) 減 価 償 却 費	440,355,427	39.47	109.60	419,225,179	38.84	104.34	21,130,248	0.63		
(5) 資 産 減 耗 費	12,909,174	1.16	105.76	12,583,849	1.17	103.09	325,325	△0.01		
(6) その他営業費用	0	0.00	—	0	0.00	—	0	0.00		
2. 営 業 外 費 用	24,592,597	2.20	93.87	25,204,644	2.34	96.21	△ 612,047	△0.14		
(1) 支 払 利 息	23,596,354	2.11	92.53	24,389,803	2.26	95.65	△ 793,449	△0.15		
(2) 雑 支 出	996,243	0.09	142.62	814,841	0.08	116.65	181,402	0.01		
3. 特 別 損 失	1,216,180	0.11	40.47	374,839	0.03	12.47	841,341	0.08		
(1) 固定資産売却損	0	0.00	—	0	0.00	—	0	0.00		
(2) 過年度損益修正損	1,216,180	0.11	40.47	374,839	0.03	12.47	841,341	0.08		
小 計	1,115,791,543	100.00	107.12	1,079,427,562	100.00	103.63	36,363,981	0.00		
当年度純利益	312,314,455		87.56	328,468,889		92.09	△ 16,154,434			
合 計	1,428,105,998		102.13	1,407,896,451		100.69	20,209,547			

# 比較損益計算書(貸方)

(すう勢比率は元年度を基準とする)

資料 3 の 2

(単位：円)

科 目	貸				方				増 減	
	令和 3 年 度		令和 2 年 度		決 算 額	すう勢 (%)	構 成 比 率 (%)	すう勢 (%)	決 算 額	構 成 比 率
	決 算 額	構 成 比 率 (%)	すう勢 (%)	決 算 額						
1. 営 業 収 益	1,209,322,996	84.68	101.06	1,197,107,642	85.03	100.04	12,215,354	△0.35		
(1) 給 水 収 益	1,153,156,896	80.75	101.63	1,144,070,551	81.26	100.83	9,086,345	△0.51		
(2) 納 付 金	51,580,000	3.61	91.16	45,051,092	3.20	79.62	6,528,908	0.41		
(3) その他営業収益	4,586,100	0.32	84.32	7,985,999	0.57	146.84	△ 3,399,899	△0.25		
2. 営 業 外 収 益	218,783,002	15.32	108.52	210,137,989	14.93	104.23	8,645,013	0.39		
(1) 受取利息及び配当金	1,002,246	0.07	57.45	1,946,095	0.14	111.56	△ 943,849	△0.07		
(2) 他会計補助金	20,387,364	1.43	120.16	20,011,670	1.42	117.94	375,694	0.01		
(3) 長期前受金戻入	194,444,911	13.62	107.25	187,234,011	13.30	103.27	7,210,900	0.32		
(4) 雑 収 益	2,948,481	0.21	185.06	946,213	0.07	59.39	2,002,268	0.14		
3. 特 別 利 益	0	0.00	0.00	650,820	0.05	3,489.84	△ 650,820	△0.05		
(1) 固定資産売却益	0	0.00	—	0	0.00	—	0	0.00		
(2) 過年度損益修正益	0	0.00	0.00	650,820	0.05	3,489.84	△ 650,820	△0.05		
小 計	1,428,105,998	100.00	102.13	1,407,896,451	100.00	100.69	20,209,547	0.00		
当年度純損失	0	—	—	0	—	—	0	—		
合 計	1,428,105,998	102.13	102.13	1,407,896,451	100.69	100.69	20,209,547	—		

費用使用途別比率表

資料 4 (単位:円)

科目	人			物件費			物件費・その他の経費			計		
	決算額	構成比率 (%)		決算額	構成比率 (%)		決算額	構成比率 (%)		決算額	構成比率 (%)	
		令和3年度	令和2年度		前年度に 対する比 率 (%)	令和3年度		令和2年度	前年度に 対する比 率 (%)		令和3年度	令和2年度
1. 営業費用	91,720,914	100.00	100.00	998,261,852	97.48	97.42	1,089,982,766	97.69	97.63	103.43		
(1) 原水及び 浄水費	16,774,613	18.29	19.17	409,768,658	40.01	40.00	426,543,271	38.23	38.29	103.21		
(2) 配水及び 給水費	42,714,723	46.57	47.89	63,306,216	6.18	6.46	106,020,939	9.50	9.86	99.66		
(3) 総係 費	32,231,578	35.14	32.94	71,922,377	7.02	7.39	104,153,955	9.33	9.48	101.74		
(4) 減価償却費				440,355,427	43.00	42.31	440,355,427	39.47	38.84	105.04		
(5) 資産減耗費				12,909,174	1.26	1.27	12,909,174	1.16	1.17	102.59		
(6) その他 営業費用				0	0.00	0.00	0	0.00	0.00	0.00		
2. 営業外費用				24,592,597	2.40	2.54	24,592,597	2.20	2.34	97.57		
(1) 支払利息				23,596,354	2.30	2.46	23,596,354	2.11	2.26	96.75		
(2) 雑支出				996,243	0.10	0.08	996,243	0.09	0.08	122.26		
3. 特別損失				1,216,180	0.12	0.04	1,216,180	0.11	0.03	324.45		
(1) 固定資産 売却損				0	0.00	0.00	0	0.00	0.00	0.00		
(2) 過年度損益 修正損				1,216,180	0.12	0.04	1,216,180	0.11	0.03	324.45		
合 計	91,720,914	100.00	100.00	1,024,070,629	100.00	100.00	1,115,791,543	100.00	100.00	103.34	100.00	103.37

## 費用節別比較表

資料 5

(単位：円、%)

科 目	令和3年度決算額	令和2年度決算額	決算額対前年増減	前年度 比 率	構 成 比 率		
					3年度	2年度	構成比率 増減
1. 人 件 費	91,720,914	88,474,909	3,246,005	103.67	8.22	8.20	0.02
(1) 直 接 人 件 費	62,659,093	59,602,844	3,056,249	105.13	5.62	5.52	0.10
給 料	44,256,997	42,077,200	2,179,797	105.18	3.97	3.90	0.07
手 当	18,402,096	17,525,644	876,452	105.00	1.65	1.62	0.02
(2) 間 接 人 件 費	29,061,821	28,872,065	189,756	100.66	2.60	2.67	△ 0.07
報 酬	7,417,295	7,445,263	△ 27,968	99.62	0.66	0.69	△ 0.03
法 定 福 利 費	14,597,526	13,777,802	819,724	105.95	1.31	1.28	0.03
賞与引当金繰入額	5,896,000	6,413,000	△ 517,000	91.94	0.53	0.59	△ 0.07
法定福利費繰入額	1,151,000	1,236,000	△ 85,000	93.12	0.10	0.11	△ 0.01
2. 物件費・その他の経費	1,022,854,449	990,577,814	32,276,635	103.26	91.67	91.77	△ 0.10
工 事 負 担 金	3,965,000	1,868,000	2,097,000	212.26	0.36	0.17	0.19
旅 費	31,107	226,705	△ 195,598	13.72	0.00	0.02	△ 0.02
被 服 費	176,088	256,100	△ 80,012	68.76	0.02	0.02	△ 0.01
備 消 耗 品 費	2,051,230	1,423,972	627,258	144.05	0.18	0.13	0.05
燃 料 費	616,902	552,876	64,026	111.58	0.06	0.05	0.00
光 熱 水 費	685,689	686,291	△ 602	99.91	0.06	0.06	△ 0.00
印 刷 製 本 費	130,000	153,500	△ 23,500	84.69	0.01	0.01	△ 0.00
通 信 運 搬 費	5,145,425	5,101,677	43,748	100.86	0.46	0.47	△ 0.01
委 託 料	235,576,219	235,037,220	538,999	100.23	21.11	21.77	△ 0.66
手 数 料	4,618,093	4,690,441	△ 72,348	98.46	0.41	0.43	△ 0.02
使用料及び賃借料	3,432,869	2,181,694	1,251,175	157.35	0.31	0.20	0.11
修 繕 費	58,781,620	56,966,054	1,815,566	103.19	5.27	5.28	△ 0.01
路 面 復 旧 費	0	368,000	△ 368,000	0.00	0.00	0.03	△ 0.03
動 力 費	49,632,067	43,391,040	6,241,027	114.38	4.45	4.02	0.43
薬 品 費	4,500	5,400	△ 900	83.33	0.00	0.00	△ 0.00
材 料 費	317,871	218,178	99,693	145.69	0.03	0.02	0.01
補 償 費	1,140,800	1,236,800	△ 96,000	92.24	0.10	0.11	△ 0.01
交 際 費	15,081	16,445	△ 1,364	91.71	0.00	0.00	△ 0.00
食 糧 費	0	0	0	—	0.00	0.00	0.00
報 償 費	908,000	754,000	154,000	120.42	0.08	0.07	0.01
雑 費	81,600	81,600	0	100.00	0.01	0.01	△ 0.00
会 費 及 び 負 担 金	9,501,512	10,441,645	△ 940,133	91.00	0.85	0.97	△ 0.12
保 険 料	1,012,578	886,704	125,874	114.20	0.09	0.08	0.01
公 課 費	33,000	23,200	9,800	142.24	0.00	0.00	0.00
有形固定資産減価償却費	427,983,176	406,852,929	21,130,247	105.19	38.36	37.70	0.66
無形固定資産減価償却費	12,372,251	12,372,250	1	100.00	1.11	1.15	△ 0.04
固 定 資 産 除 却 費	12,909,174	12,583,849	325,325	102.59	1.16	1.17	△ 0.01
棚 卸 資 産 減 耗 費	0	0	0	—	0.00	0.00	0.00
材 料 売 却 原 価	0	0	0	—	0.00	0.00	0.00
雑 支 出	0	0	0	—	0.00	0.00	0.00
企 業 債 利 息	23,596,354	24,389,803	△ 793,449	96.75	2.11	2.26	△ 0.15
借 入 金 利 息	0	0	0	—	0.00	0.00	0.00
そ の 他 雑 支 出	996,243	814,841	181,402	122.26	0.09	0.08	0.01
受 水 費	166,440,000	166,296,600	143,400	100.09	14.92	15.41	△ 0.49
貸倒引当金繰入額	700,000	700,000	0	100.00	0.06	0.06	0.00
3. 特 別 損 失	1,216,180	374,839	841,341	324.45	0.11	0.03	0.07
(1) 固定資産売却損	0	0	0	—	0.00	0.00	0.00
(2) 過年度損益修正損	1,216,180	374,839	841,341	324.45	0.11	0.03	0.07
合 計	1,115,791,543	1,079,427,562	36,363,981	103.37	100.00	100.00	0.00

## 比較貸借対照表(借方)

※すう勢比率は元年度を基準とする。

資料 6 の 1

### 資産の部

(単位:円)

借方科目 資産の部	令和 3 年度			令和 2 年度			決算額対前年 比較増減
	決算額	構成比率 (%)	すう勢 (%)	決算額	構成比率 (%)	すう勢 (%)	
1. 固定資産	9,186,070,405	70.88	101.95	9,152,734,105	72.02	101.58	33,336,300
(1) 有形固定資産	8,980,674,371	69.30	102.28	8,934,965,820	70.31	101.76	45,708,551
イ 土地	369,811,388	2.85	100.03	369,709,115	2.91	100.00	102,273
ロ 立木	15,147,663	0.12	100.00	15,147,663	0.12	100.00	0
ハ 建物	189,276,601	1.46	92.12	197,371,262	1.55	96.06	△ 8,094,661
ニ 建物附属設備	3,004,582	0.02	86.15	3,282,574	0.03	94.12	△ 277,992
ホ 構築物	7,446,994,372	57.46	103.46	7,364,581,068	57.95	102.32	82,413,304
ヘ 機械及び装置	925,743,240	7.14	94.90	972,889,744	7.66	99.74	△ 47,146,504
ト 車両及び運搬具	966,168	0.01	52.98	1,138,223	0.01	62.41	△ 172,055
チ 工具器具及び備品	9,748,855	0.08	83.57	10,846,171	0.09	92.98	△ 1,097,316
リ 建設仮勘定	19,981,502	0.15	-	0	0.00	-	19,981,502
(2) 無形固定資産	205,381,034	1.58	89.25	217,753,285	1.71	94.62	△ 12,372,251
イ 電話加入権	116,381	0.00	100.00	116,381	0.00	100.00	0
ロ ゲーム使用権	205,264,653	1.58	89.24	217,636,904	1.71	94.62	△ 12,372,251
(3) 投資	15,000	0.00	100.00	15,000	0.00	100.00	0
イ 投資有価証券	15,000	0.00	100.00	15,000	0.00	100.00	0
2. 流動資産	3,773,603,053	29.12	113.68	3,555,052,241	27.98	107.09	218,550,812
(1) 現金預金	3,673,114,805	28.34	113.39	3,385,437,905	26.64	104.51	287,676,900
(2) 未収金	96,712,478	0.75	127.80	167,363,466	1.32	221.16	△ 70,650,988
(3) 貯蔵品	2,375,770	0.02	74.44	850,870	0.01	26.66	1,524,900
(4) 前払金	0	0.00	-	0	0.00	-	0
(5) その他流動資産	1,400,000	0.01	100.00	1,400,000	0.01	100.00	0
資産合計	12,959,673,458	100.00	105.11	12,707,786,346	100.00	103.06	251,887,112

## 比較貸借対照表(貸方)

※すう勢比率は元年度を基準とする。

資料 6 の 2

### 負債の部

(単位:円)

貸方科目	令和3年度			令和2年度			決算額対前年 比較増減
	決算額	構成比率 (%)	すう勢 (%)	決算額	構成比率 (%)	すう勢 (%)	
3. 固定負債	1,824,962,695	14.08	103.11	1,843,975,552	14.51	104.19	△19,012,857
(1) 企業債	1,824,962,695	14.08	103.11	1,843,975,552	14.51	104.19	△19,012,857
(2) 他会計借入金	0	0.00	—	0	0.00	—	0
(3) 引当金	0	0.00	—	0	0.00	—	0
(4) その他固定負債	0	0.00	—	0	0.00	—	0
4. 流動負債	317,462,877	2.45	90.55	318,493,727	2.51	90.84	△1,030,850
(1) 一時借入金	0	0.00	—	0	0.00	—	0
(2) 企業債	74,312,858	0.57	109.09	72,494,743	0.57	106.42	1,818,115
(3) 他会計借入金	0	0.00	—	0	0.00	—	0
(4) 未払金	201,810,412	1.56	74.27	234,631,114	1.85	86.35	△32,820,702
(5) 前受金	1,868,522	0.01	100.00	1,868,522	0.01	100.00	0
(6) 引当金	7,047,000	0.05	101.50	7,649,000	0.06	110.17	△602,000
(7) その他流動負債	32,424,085	0.25	1653.45	1,850,348	0.01	94.36	30,573,737
5. 繰延収益	3,603,504,529	27.81	99.09	3,643,888,165	28.67	100.20	△40,383,636
(1) 長期前受金	3,603,504,529	27.81	99.09	3,643,888,165	28.67	100.20	△40,383,636
負債合計	5,745,930,101	44.34	99.80	5,806,357,444	45.69	100.85	△60,427,343

### 資本の部

貸方科目	令和3年度			令和2年度			決算額対前年 比較増減
	決算額	構成比率 (%)	すう勢 (%)	決算額	構成比率 (%)	すう勢 (%)	
6. 資本金	1,488,360,336	11.48	100.00	1,488,360,336	11.71	100.00	0
(1) 自己資本金	1,488,360,336	11.48	100.00	1,488,360,336	11.71	100.00	0
7. 剰余金	5,725,383,021	44.18	112.60	5,413,068,566	42.60	106.46	312,314,455
(1) 資本剰余金	0	0.00	—	0	0.00	—	0
イ 再評価積立金	0	0.00	—	0	0.00	—	0
ロ 受贈財産評価額	0	0.00	—	0	0.00	—	0
ハ 寄付金	0	0.00	—	0	0.00	—	0
ニ 国県補助金	0	0.00	—	0	0.00	—	0
ホ 工事負担金	0	0.00	—	0	0.00	—	0
ヘ 他会計負担金	0	0.00	—	0	0.00	—	0
ト 施設分担金	0	0.00	—	0	0.00	—	0
チ 他会計補助金	0	0.00	—	0	0.00	—	0
リ 出資金	0	0.00	—	0	0.00	—	0
ヌ 補償金	0	0.00	—	0	0.00	—	0
(2) 利益剰余金	5,725,383,021	44.18	112.60	5,413,068,566	42.60	106.46	312,314,455
イ 減債積立金	283,000,000	2.18	116.46	263,000,000	2.07	108.23	20,000,000
ロ 建設改良積立金	3,100,000,000	23.92	124.00	2,800,000,000	22.03	112.00	300,000,000
ハ 当年度未処分利益剰余金	2,342,383,021	18.07	100.03	2,350,068,566	18.49	100.36	△7,685,545
剰余金合計	5,725,383,021	44.18	112.60	5,413,068,566	42.60	106.46	312,314,455
資本合計	7,213,743,357	55.66	109.75	6,901,428,902	54.31	105.00	312,314,455
負債・資本合計	12,959,673,458	100.00	105.11	12,707,786,346	100.00	103.06	251,887,112

## 比較剰余金計算書

資料 7

(単位：円)

		令和 3 年度		令和 2 年度		対前年増減額	対前年比率 (%)
		決算額	構成比率 (%)	決算額	構成比率 (%)		
資 本 金	自己資本金	1,488,360,336	20.63	1,488,360,336	21.57	0	100.00
	借入資本金	0	0.00	0	0.00	0	-
剰 余 金	減債積立金	283,000,000	3.92	263,000,000	3.81	20,000,000	107.60
	利益積立金	0	0.00	0	0.00	0	-
	建設改良積立金	3,100,000,000	42.97	2,800,000,000	40.57	300,000,000	110.71
	未処分利益剰余金	2,342,383,021	32.47	2,350,068,566	34.05	△7,685,545	99.67
	利益剰余金合計	5,725,383,021	79.37	5,413,068,566	78.43	312,314,455	105.77
資 本 合 計		7,213,743,357	100.00	6,901,428,902	100.00	312,314,455	104.53